

お知らせ

2019年4月  
大学院に保健医療学研究科の設置を構想中

保健医療学研究科 柔道整復学専攻(修士課程)

名称	保健医療学研究科 柔道整復学専攻(修士課程)	人材養成の目的	保健医療学研究科 大学院の目的の通り、保健医療学の分野の発展に寄与することができる研究能力と高度な専門的実践力を兼ね備えた指導的立場に立つ医療人の育成を目的とする。
修業年限	2年	柔道整復学専攻	柔道整復学研究に必要な高度な研究能力ならびに専門的な研究能力を有する人材養成を行うとともに、柔道整復学の科学的な研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することを目的とする。
入学定員	4名(収容定員8名)		
取得学位	修士(柔道整復学)		
開設予定年度	2019年4月		

武道場新設募金のお願い

本学の強化指定クラブのひとつである女子剣道部は、現在部員15名が在籍しており、西日本女子剣道大会ベスト16や春季医歯薬学生剣道大会で優勝(個人・団体共)を飾るなど着実に成果を挙げています。この春には10名近くの新入部員が新たに入学する予定です。しかしながら、本学には本格的な武道場が無く、学内外の体育館にて日々の練習を行っているところです。つきましては、このたび女子剣道部の更なる活躍を祈念し、武道場の新設に着手する運びとなりました。関係各位の皆様方には、ご寄付のご協力について特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〈募金要項〉

募金名称	明治国際医療大学 武道場新設募金
募金目標額	5千万円
ご依頼額	1口1千円(5口以上)※個人・法人とも
募集期間	平成30年4月～平成31年3月
建設概要	総工費約1.8億円 軽量鉄骨造り平屋建 建設面積 約480㎡



完成イメージ写真



2018年4月  
明治国際医療大学「吹田クリニック」を開院

2018年4月に姉妹校の明治東洋医学院専門学校内(大阪府吹田市)に大学附属のクリニックが開院します。診療科は、内科・漢方内科・心療内科となっております。学生は医療費の減免が受けられます。また、教育面では、学生の学外臨床実習やキャリアデザインの授業におけるアーリーエクスポージャー(医療現場の見学及び体験学修)の施設としても活用します。なお、吹田クリニックの開院にともない、京都エミナス内の附属統合医療センターは、1月末日をもちまして閉院いたしました。



完成イメージ

[診療日]月～金曜日 [診療時間]10:00～12:00/13:00～16:00

明治国際医療大学

看護学部[看護学科] \* 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] \* 鍼灸学部[鍼灸学科] \* 大学院[鍼灸学研究科]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より  
大学評価基準を満たしていると認定されました。

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.16

大学情報誌



ご卒業、おめでとうございます!

3月16日(金)、本学講堂にて平成29年度卒業式・学位授与式が挙行されました。大いなる希望を胸に135名の卒業・修士生が、新たな門出への第一歩を踏み出しました。当日は、あいにくの雨でしたが、式典終了後に会場をあとにした学生の笑顔がとても晴れやかで印象的でした。式典終了後の卒業記念パーティーでは、京都ブライトンホテルにて4年間共に過ごした仲間達やお世話になった先生方と、笑いあり・涙ありの盛大なひと時を過ごし、名残惜しみながらも、最後の大学生活を締めくくりました。

成績優秀表彰者

学長賞	中島 万紀絵(鍼灸学科)	全日本鍼灸マッサージ師会表彰	豆田 光(鍼灸学科)
学長賞	山本 宗一郎(柔道整復学科)	鍼灸学系大学協議会	西原 小百合(鍼灸学科)
学長賞	増田 三四郎(看護学科)	日本柔道整復接骨医学会賞	藤村 黎(柔道整復学科)
谷口健蔵賞	伊佐治 景悠(大学院博士後期課程)	日本柔道整復師会会長賞	井筒 聡(柔道整復学科)
全日本鍼灸学会 会長表彰	比嘉 翔平(鍼灸学科)	日本私立看護系大学協会会長表彰	谷口 果穂(看護学科)
日本鍼灸師会賞	吉原 侑星(鍼灸学科)	京都府看護協会花束贈呈	内海 有彩(看護学科)



# 保健師国家試験受験資格取得コースの学びの特徴

## 地域でのイベントを通じて さまざまな保健師活動を体験

3年次から4年次にかけて、保健所及び市町村での実習において、公衆衛生看護学を学びます。フィールド活動も取り入れて、さまざまな保健師活動を体験し、広い視野で人々の健康を捉えることができる看護職の育成を目指しています。

地域の集会所で高齢者を対象にしたロコモ予防などの健康教室、地域のお母さんと子どもを対象に「すくすくやぎっこ」子育て支援、12月のエイズ予防月間には、同世代の若者に「レッドリボン」や「手づくりクイズ」によるHIVに関する知識の普及啓発を実施。公衆衛生看護学実習では、保健所または市町村で、学生手づくりの健康教育を体験します。地域の住民の方の健康課題に基づいて、企画・実施・評価までの一連の過程を実践的に学びます。



地域集会所でロコモ予防教室の様子 学内でのHIV知識の普及啓発



健康教育の様子

# 都市型救助実習

## 新設の救助施設を使用し 本物の救助を体験

後期から始まった都市型救助実習では、キャンパス内に設置された救助訓練塔や瓦礫救助専用の施設を活用して、火災や地震、自動車事故などで取り残された傷病者の救助・救出方法を学習しています。交通事故救助では、実際の車両を使い現場に近い状況を作ることにより、実践的で、より緊迫感のある訓練を行っています。大型油圧救助資器材等を使用してドア・窓ガラスの破壊や切断等の訓練を重点的に実施し、正確、安全な救助資器材の取扱いの習得、傷病者の安全確保など隊員同士で検討しながら、全体のスキルの向上を図りました。また、ロープを使用したレスキュー活動を行う際に必要となる救助者としての心構えを始め、ロープを含めた資器材の正しい使用法、ロープレスキューに関する基本的な知識や技術として安全面などを学んでいきます。



他校との合同訓練



車両破壊訓練の実施風景

訓練終了後の様子



← 救急救命学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

# 緊張感の中で学ぶ、スキー場救護見学実習

## 急性外傷の応急処置を現場で リアルタイムに見学し、経験を積む

柔道整復師は骨折、脱臼、捻挫、打撲などの急性外傷を扱うため、患者の状態を冷静かつ正確に診る必要があります。資格を取得後すぐに、臨床現場にて冷静に急性外傷を診ることは困難です。熟練の柔道整復師も経験を積むことによってそれを可能にしています。それゆえ、学生の中に少しでも現場の雰囲気を経験してもらうためにこのような実習を組み込んでいます。具体的には運ばれてきた負傷者を引率教員が問診、触診、検査などをして、その場で外傷の判断をして適切な処置を行います。実際の負傷者に緊張感を持って対応する引率教員の姿が実習生にとってはプラスの刺激になり、資格取得への意欲に繋がっています。また夕食後に、その日の負傷者の状態と処置の確認を議論し、各学生の知識のレベルアップを行い、経験を次に活かせるように努めています。



柔道整復学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



# 鍼灸コミュニケーション入門

## 質の高い鍼灸臨床を行うために

1年生の「鍼灸コミュニケーション入門」を紹介します。鍼灸臨床でより良い治療を患者さんに行うためには、良好な関係を築くことが必要になり、コミュニケーションはその第一歩となります。この科目ではコミュニケーションを学ぶ前に、まずは自己分析や交流分析で自分のことを知ることからスタートし、その後にコミュニケーションの基本やスキルを学びました。それと並行して附属鍼灸センターと京都駅前鍼灸院で臨床体験学習(アーリー・エクスプロージャー)も行いました。後期に入ってから鍼灸臨床のなかの医療面接ができるスキル獲得を目指して、学生同士で患者役と先生役に分かれて演習を行いました。さらに、鍼灸センターでは患者さんに対して1年生1人1人が鍼灸に対するイメージや受療動機、患者さんから見た理想の鍼灸師像などの内容を、コミュニケーションを図りながらインタビューを行いました。それぞれが患者さんから得た貴重な情報を、グループ形式でまとめて発表会も行いました。この発表会には、多くの教員や大学院生、研修生も参加してディスカッションを行いました。学生からは、「1年生でこのような経験ができたことが良かった」や「患者さんの気持ちがあったので、鍼灸師として目指す方向が見えてきた」、「今の勉強が大切なことを再認識した」といった感想が多くありました。今後の学生の成長が楽しみです。なお、この科目の内容は平成30年度からの新カリキュラムでは、「はり・きゅう臨床実習」、「基礎ゼミ」へと引き継がれます。



鍼灸学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。 →



## 大学院生が研究成果を公開発表

自身のテーマを追求めて  
 これまで積み重ねてきた努力の集大成

2018年1月から2月にかけて、本学の博士課程4名、修士課程16名の学生が、自身の研究成果について公開発表を行いました。研究コースでは、男性性機能に対する鍼治療の効果や、認知症に対する鍼治療の予防効果などの医学に関する内容から、鍼治療が月経周期に与える効果といった予防的内容まで、多様なテーマで発表が行われ、活発な意見交換がされました。臨床コースでは、慢性的な頭痛や変形性膝関節症についての症例報告が行われ、臨床が身近に感じられる発表でした。どの発表も、鍼灸の将来性を強く感じさせるとともに、医学的にも非常に重要なテーマでした。大学院生のみならず、素晴らしい発表をありがとうございました。



写真左は博士課程の伊佐治くん。写真右は修士課程の加納さん。お二人を含め、みなさん堂々とした発表で、これまで積み重ねてきた努力と時間の重さを感じられました。



会場の様子。教授の先生を含め、活発な討論が行われました。

## Topics Meiji University of Integrative Medicine

### スポーツケア、救護活動

本学では鍼灸学科、柔道整復学科、救急救命学科において、授業における学外実習若しくはボランティア活動の一環として、近隣で行われるマラソン大会等においてスタッフとして参加しています。主に、鍼灸学科、柔道整復学科においては、ケアブースを設置し、マラソンランナーに対しストレッチ指導と、レース前のウォームアップジェル塗布、レース後のクールダウンオイルの塗布を行い、救急救命学科においては沿道救護スタッフとして、AEDを装備し、レース中の心肺停止、すり傷や熱中症等の「ファーストエイド」に備える救護活動を行っています。



#### 平成29年度の活動状況

- 8月27日(日) 「京都丹波トライアスロンin南丹」(南丹市 大堰川緑地公園及び周辺地域) …… スポーツケア、救護活動
- 11月 3日(金) 「京都丹波ロードレース」(京丹波町「京都丹波自然運動公園」及び周辺地域) …… スポーツケア、救護活動
- 12月10日(日) 「亀岡ハーフマラソン」(亀岡市運動公園競技場及び周辺地域) …… スポーツケア、救護活動
- 2月18日(日) 「京都マラソン2018」(西京極総合運動公園スタート、平安神宮前ゴール) …… 救護活動
- 2月25日(日) 「東京マラソン2018」(東京都庁～東京駅前他) …… 救護活動

### 第40回「たには祭」開催

10月14日(土)・15日(日)、当日は雨天に見舞われましたが、各イベントや屋台も大いに賑わっていました。オープニングセレモニーは園部吹奏楽団、出演ゲストはテレビCMに出演されているアーティストを初め、吉本興業の芸人さん(ダイアンさん、マルセイユさん)、地域ダンスチームBEAT BOXの皆様、たくさんのイベント参加者様のおかげで笑顔あふれる楽しい時間となりました。今年のテーマは「たにはの中心で愛を叫ぶ」。40周年アニバーサリーとしてこの丹波(たには)の地で普段伝えられない心に秘めた想いを叫び合い、愛にみちた学祭となりました。これもひとえに多くの保護者様、地域の皆様、今年度より発足いたしました教育振興会からのご支援のおかげと厚く御礼申し上げます。



### 救急救命学科開設 記念フォーラム

平成29年10月2日(月)に新・都ホテルにおいて、救急救命学科開設記念フォーラム～プレホスピタルケアの新世紀～を開催しました。当日は、京都第一赤十字病院 救命救急センター長の高階謙一郎先生と国士舘大学 防災・救急救助総合研究所 所長の島崎修次先生を講師としてお招きし、「災害時におけるRescue Paramedicのあり方」と「救急救命士の今後の役割と展望」について講演いただきました。本学救急救命学科の学生を始め、消防、病院、学校関係者など、総勢139名の方にご参加いただき、盛大な催しとなりました。



### アメリカでの鍼灸技術講演

鍼灸学部 はりきゅう学講座 伊藤和憲

この度、アメリカのカリフォルニア州サンフランシスコにあるAIMC (Acupuncture and Integrative Medicine College: パークレー鍼・統合医療専門職大学院)にて、痛み治療の1つである「ペインコントロールにおける鍼治療の役割」に関する講演をさせて頂く機会を得ました。アメリカでは「痛み」がとても大きな社会問題です。特に、近年ではオバマケアに伴い低所得者に対する痛み治療のあり方、さらには医療用鎮痛薬「オピオイド」の乱用など多くの社会問題となっています。そこで、薬物に頼らない痛みのコントロール法として、鍼灸による治療法が注目を集めており、今回の講義開催となりました。受講者はアメリカの鍼灸師は勿論のこと、医師や理学療法士などが多く参加し、どのように痛みを捉え東洋医学と西洋医学をコンビネーションさせればよいのかという質問が多く寄せられました。そして、多くの参加者からは「今まで色々な西洋医学的な治療法(ツール)を学んできたが、色々なツールを何処に当てはめれば良いのか、東洋医学をどのように生かせば良いのかわかった。頭がクリアになった」というコメントを頂くことができました。痛みの分野では、明治国際医療大学で行っている研究や臨床が世界をリードしています。さらに研究や臨床を進展させ、



本学の教育にも反映していきたいと考えています。



### 入学前から始まる 「大学での学び」

本学での教育は、医療人を育てるための教育です。医療のスペシャリストになるため、1年次から解剖学や生理学などの高度で専門的な教育が行われます。高校との学習ギャップは大きく、その違いに悩む学生の方は少なくありません。大学での学びをスムーズにするため、2月4日に来年度の新入生を対象としたオープンスクールを実施しました。本格的な大学の授業が行われ、新入生達は真剣に耳を傾けました。



本格的な大学の授業(解剖学)が行われ、真剣に受講する姿が見られました。



質問タイムでは、教員が丁寧に質問に答えました。

## 女子サッカー部の活躍 ~チーム設立2年目にして快挙!インカレ出場~

平成27年に創設された女子サッカー部は、当初部員2名からスタートしました。翌年には13名に増え、現在は26名が在籍しています。ほとんどの部員が寮生活で、学部によって授業時間が異なるため、全体練習は朝7時から8時半までの間に行っています。

女子サッカー部のチームコンセプトのひとつとして「医療系大学だからできるケガ予防のためのトレーニング」を実践しています。この特色を活かした練習方法として、ウォーミングアップ開始前に各自がピラティスを行い、カラダをゆっくり運動できる状態へとコンディションを高めていきます。また、全体練習でもケガを予防するためのトレーニング(ストップ、ターン、カット動作)を取り入れています。このトレーニングは本学の卒業生でスポーツトレーナーとして活躍されている先生方の指導の下、本学のトレーナー部に所属する学生コーチが日々トレーニングメニューの考案を行っています。そのため、この2年間で女子サッカーに多いと言われている前十字靭帯損傷などの大きなケガの発生はありません。また、女性は1ヶ月の中で体調が変化しやすいため、部員は基礎体温や体重計測を毎日行い、学生コーチと一緒に日々のコンディションを確認しています。まずは自己管理を行い、自分のカラダを知ることが医療人そしてアスリートとして重要だと考えています。今年の成績は関西女子サッカーリーグ春季2部リーグ優勝(1部昇格決定)、京都女子サッカー選手権優勝(皇后杯関西大会2回戦敗退)、関西大学女子サッカー1部リーグ3位(インカレ出場決定)、全日本女子サッカー選手権大会1回戦敗退という結果でした。



関西大学女子サッカー春季リーグ2部優勝



ウォーミングアップ前の自主トレーニング

## 強化指定クラブの主な成績 (2017年度後期)

### 陸上競技

#### 第85回近畿陸上競技選手権大会

[ハンマー投げ] 男子2位 田村啓斗(鍼灸学科1年)  
女子4位 濱口美菜(柔道整復学科3年)  
[やり投げ] 男子8位 金川陽亮(救急救命学科1年)

#### 関西学生新人陸上競技選手権大会

[400m] 男子8位 横路 秀(鍼灸学科1年)  
[棒高跳び] 男子4位 藤川昂琉(鍼灸学科1年)  
[ハンマー投げ] 男子優勝 若山哲也(柔道整復学科1年)  
男子2位 田村啓斗(鍼灸学科1年)  
[800m] 女子5位 西嶋希京(鍼灸学科1年)  
[やり投げ] 女子2位 重川夏歩(鍼灸学科1年)  
[円盤投げ] 女子6位 小山紗輝(鍼灸学科1年)

#### 関西学生陸上競技種目別選手権大会

[やり投げ] 男子4位 金川陽亮(救急救命学科1年)  
女子4位 濱口美菜(柔道整復学科3年)  
[800m] 女子4位 西嶋希京(鍼灸学科1年)  
[円盤投げ] 女子7位 小山紗輝(鍼灸学科1年)

### 男子・女子バレー

(男子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ4部リーグ 3勝4敗(4位)  
京都府大学バレーボール連盟秋季男女選手権大会 出場  
関西バレーボール大学男女選手権大会 出場

(女子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ4部リーグ 6勝1敗(2位)  
入替戦 V.S. 関女・福科大学 セット:3-2勝利 3部昇格  
京都府大学バレーボール連盟秋季男女選手権大会 出場

### 柔道

(男子) 第55回京都十二大学親善柔道大会 [1部団体]優勝

#### 第32回京都学生柔道段別体重別選手権大会

[男子軽量級]3位 新井良規(柔道整復学科3年)  
[男子中量級]ベスト8 櫻井大地(柔道整復学科1年)

(女子) 第32回京都学生女子柔道段別体重別選手権大会

[女子軽量級2位] 刈谷美咲(看護学科1年)  
[女子重量級ベスト8] 三苫桃子(鍼灸学科1年)

第31回京都府柔道選手権大会 ベスト16

### 女子剣道

第65回関西学生剣道優勝大会 ベスト16

#### 秋季関西医歯薬学生剣道大会

[団体Aチーム]優勝 [Bチーム]準優勝 [新人戦Bチーム]ベスト8

#### 第48回京滋学生剣道新人大会

[個人]準優勝:野口美琉(看護学科1年) [団体Aチーム]2位 [Bチーム]ベスト8

#### 第30回関西学生剣道新人大会

個人3位:阿瀬知瑞希(看護学科1年) ベスト16:中園美希(看護学科1年)

第12回全日本学生剣道オープン大会 ベスト32:中園美希(看護学科1年)

### 女子サッカー

秋季関西学生女子サッカーリーグ1部 3位  
全日本大学女子サッカー選手権大会 出場

## 大学キャンパス内に “女子スポーツ学生寮”完成

強化指定クラブに所属する女子学生のためのシェアハウス型の学生寮が2017年10月に完成しました。全50室の個室(洋室)は、机、ベッド、クローゼット、テレビ、冷蔵庫、冷暖房を完備。キッチン、浴室、トイレ、洗濯機などの共有設備も充実しています。カードキー式ドア錠や防犯カメラ、管理人が常駐するなど、防犯対策も万全です。安心して学業とスポーツに打ち込める最適な環境が整っています。



## 学生インタビュー 女子剣道で活躍中の九州から入学した1年生と2年生にインタビューしました。

### 入学した時の心境は?

2年生 野中・田崎 地方から来ていることもあって、一番は友人が出来るか不安だった。クラスメイトももちろんだけど、同じ剣道部の同期も仲良くできるか心配だった。

1年生 阿瀬知・中園 授業が高校では習ったことがないような専門的な科目が多く、勉強がついていけるかが心配だった。それに、剣道も両立をしないと本当にはできるのかな、と不安だった。

### 何故本学を選んだか?

2年生 野中・田崎 もともと医療系を目指していて、さらに剣道ができる環境と知り、同じ進学をするなら剣道ができる環境を選んだ。更にオープンキャンパスに参加した際、緑に囲まれたこの大学なら、勉強に集中できると確信が持てた。また、附属病院があることも大きな魅力の一つ。

1年生 阿瀬知・中園 看護の道を目指す際、剣道を続ける環境がないと諦めていたが、両方諦めないですむ大学の存在を知った。もともと高校も寮に入っていたので地方に出ることに抵抗もなく、この大学なら思い切り剣道も勉強もできると思った。

### 大学生活について

2年生 野中・田崎 先生との距離が近くて質問がしやすく、放課後なども丁寧に対応してくれるので分かりやすい。教員のレベルが高く、講義内容もかなり充実している。また入学当初に心配していた友達も、授業でわからないことを教え合ったり実技の練習をお互いに行っているうちにどんどん仲良くなっていった。

1年生 阿瀬知・中園 座学で学んだことを実際に演習や実習等で体験するので身体で覚えやすい。部活面では鍼灸や柔整の先輩がおられるのでいつでもコンディショニングを見てもらえるし、体調を崩したときなどにすぐにかかれる附属病院も隣にあり、かなり心強い。勉強

ばかりしていると辛くなるので剣道をしていることが逆に息抜きになることも。勉強と部活の両立はメリハリがでて集中力が高まる。

### 一人暮らしについて

2年生 野中・田崎 何をするにも自由があるけど、疲れて家に帰っても家事をしないといけない。親の有り難味がかなりわかった。

1年生 阿瀬知・中園 一人の時間がもてることはすごく大事。でも毎日の料理が大変で、栄養バランスも崩れがちになってしまう。

### 今後の目標

2年生 野中・田崎 勉強面では国家試験合格を目指す!!折角ハイレベルの教員が沢山おられるので知識だけではなく技術をどんどん盗んでいきたい。単位も出来るだけ落とさないように日々の勉強から復習を心がけたい。部活面では全日本学生剣道大会に出場する。今以上にチームワークを高め、結果を求めていきたい。

1年生 阿瀬知・中園 全日本出場!!!毎日の苦しい稽古も勝ちたいから乗り越えられる。いつも優しく指導してくれる先輩たちと一緒にもっと上を目指していきたい。もちろん勉強も看護師という夢を叶えるために今以上に意欲的に取り組んでいきたい。



(左より)田崎さん、野中さん、阿瀬知さん、中園さん